



夏の暑さもおさまり、秋らしくなってきました。さわやかに吹く風が秋の深まりを知らせてくれます。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもあるので、手洗い・うがいや衣服の調節などをして、かぜを予防しましょう。

### 内科健診・歯科指導のお知らせ

10月6日(月)内科健診(2回目)を行います。

10月7日(火)歯科衛生士による歯科指導を行います。両日ともお休みしないようお願いいたします。

### RSウイルスが流行の兆し

高崎市では、RSウイルスの報告はありませんが、かかる人が増加しています。RSウイルスは寒冷期(11月頃から初春まで)に流行し、飛沫、接触感染します。こまめに手洗い、うがいをして、予防しましょう。

### 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)

保育園で、おたふくかぜにかかる子が数人いました。おたふくかぜは、ムンプスウイルスによって起こります。咳やくしゃみ、接触で感染します。潜伏期間は2~3週間です。合併症として、髄膜炎、睾丸炎、卵巣炎、難聴などがあります。また、片方の耳下腺の腫れを何度も繰り返す反復性耳下腺炎もあり、鑑別が必要です。

**症状** 耳の付け根のところ(耳下腺炎)、顎の下(顎下腺)が腫れて痛みを伴います。耳の下が腫れると食事のときに顎を動かすので、痛くて食べられないことがあります。片方だけ腫れる事もあります。発熱は、晴れる前から、38~39℃の高熱が出ることがありますが、2~3日で解熱します。

**治療と経過** 有効な抗ウイルス剤もありませんし、抗生剤も効果がありません。対症療法で、痛みを和らげる事が中心です。経過中は発熱がないこともあります。経過中、発熱、頭痛、嘔吐を伴う無菌性髄膜炎を起こす事もあります。

おたふくかぜにかかった場合は、登園停止になります。主治医の先生に早めに受診しましょう。

保育園では玄関にあるAEDの上に伝染性疾患発生状況を毎日記載しています。

### 手洗い指導について

昨年の手洗い実験の様子 秋は気温差が激しく風邪を引きやすくなります。保育園では、感染症予防の為、外遊び後、



トイレ後、食事前等にまめに手洗いをしています。昨年は、手洗いの大切さを知ってもらおうと、紙芝居や手洗い実験などを行い、洗い残しや汚れのつきやすい箇所を確認しました。今年も感染症が流行する前に、手洗い実験や手の洗い方についてお話をします。手洗い実験で

昨年同様ヨードチンキ(消毒用イソジン)を薄めて行います。ヨードチンキ(消毒用イソジン)過敏症や手荒れなど、心配な方は、早めに担任までお願いします。(対象:2歳児 わくわくたんぼぼ組以上)

### インフルエンザの予防接種

発症を抑え、肺炎や脳炎などの合併症を防ぐ重症化防止効果があります。ワクチンは効果を発揮するまでに約2週間かかり、半年程度効果が期待できます。急性の病気にかかっている場合や、発熱している子は予防接種を避けたほうがよいでしょう。



MR ワクチン 1歳になったらすぐ1回、年長(ばらぐみ)になったら忘れずに2回目を受けましょう。

**Q&A** Q1ワクチン接種したのにかかるのがいるのはなぜ?

A 残念ですが、ワクチンは100%予防効果があるものではありません。例えば、1回接種の場合、麻しんワクチンは98%、風疹ワクチンは95%、流行性耳下腺炎では、90%、水痘では70~80%の効果です。

これらの生ワクチンは2回接種を勧める時代に入ってきています。毎年、流行期前に接種されるインフルエンザワクチンは、インフルエンザにかかっても重症化しないことも目的にしています。かかっても軽くすむということもワクチンの効果の一つです。

今月のつくしんぼ室 利用状況 発熱2名 嘔気・嘔吐1名 頭痛1名